

PUMA CUP 2016 第 21 回全日本フットサル選手権愛知県大会 実施要項

1.名称

PUMA CUP 2016 第 21 回 全日本フットサル選手権愛知県大会

2.主催

公益財団法人愛知県サッカー協会

3.主管

公益財団法人愛知県サッカー協会フットサル委員会

4.特別協賛

PUMA®

5.日程/会場

【1次トーナメント】

9月6日(日) 昭和SC	9月22日(火・祝) 北SC	9月26日(土) 名古屋市体育館	10月18日(日) 北SC
-----------------	-------------------	---------------------	------------------

【決勝トーナメント】

10月31日(土) 昭和SC	11月3日(火・祝) 守山SC	11月3日(火・祝) 名古屋市体育館	11月23日(月・祝) 名古屋市体育館
12月5日(土) 蒲郡市民体育センター			

6. 参加資格

(1) 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。

公益財団法人日本サッカー協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。

(2) 第 1 項のチームに所属する 1999 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。

男女の性別は問わない。

(3) 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。

(4) 選手は、他のチームで参加していないこと。

(5) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。

(6) 使用会場の利用規則を厳守すること。(更衣室、シャワー室の利用方法、喫煙場所、駐車場利用方法等)

(7) ごみは必ず持ち帰ること。会場のごみ箱は利用禁止とします。

会場で購入したもののごみも持ち帰ること。(ペットボトル等)

(8) (6)(7)の項目についてチーム代表者が、選手またはチーム役員に限らず、チームの応援者へも徹底周知できること。

7. 参加チームとその数

参加チームは、次の各号により選出された 47 チームとする。

- (1) 東海フットサルリーグ所属 6 チーム（前年度優勝・準優勝を含む）
- (2) 愛知県フットサルリーグ 1 部所属 10 チーム、2 部所属 10 チーム、3 部所属 10 チーム
- (3) 愛知県フットサルリーグ OPEN リーグに所属チーム
- (4) 6-(1)項に該当する愛知県フットサルリーグ未加盟で尚且つ愛知県内で活動するチーム
- (3)(4)に該当するチームは、応募多数の場合抽選で参加チームを決定する。

8. 大会形式

【1次トーナメント】：32 チームを 8 ブロックに分けノックアウト方式で行う。

各ブロックの 1 位チーム、合計 8 チームは決勝トーナメントへ進出する。

【決勝トーナメント】：1 次トーナメント勝ち上がりの 8 チームと、シードの東海フットサルリーグ所属チーム、愛知県フットサル 1 部リーグ 10 チームを加えた 24 チームによるノックアウト方式で行う。

なお、準決勝敗者同士による 3 位決定戦は行わない。

9. 記録/ボールパーソン

組み合わせ抽選により、各試合のオフィシャルを割り当てる。

オフィシャルは 2 チームで行い、1 チーム 4 名とする。記録（2 名）、副審（2 名）/ボールパーソン（4 名）

10. 審判

本大会の主審と第 2 審判は協会派遣とする。

副審（第 3 審判/タイムキーパー）はオフィシャルにて対応すること。※資格は問わないが有資格者が望ましい。

11. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ：原則として、40m×20m とする。

(2) 試合球：プーマ製フットサル 4 号ボール

(3) 競技者の数：5 名 交代要員の数：9 名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内

(4) チーム役員の数：5 名以内 ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6 名以内とする。

(5) 競技者の用具

①ユニフォーム：

(ア)フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム

（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(ウ)フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(エ)シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ)選手番号については 1 から 99 までの整数とし「0」は認めない。

フィールドプレイヤーは 1 番をつけることができない。

必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。

ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(キ) その他のユニフォームに関する事項については、本協会のユニフォーム規程に則る。

②靴：靴底は接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ピブス：交代要員は、競技者と異なる色のピブスを用意し、着用しなければならない。

※勝ち進み東海大会へ進出となれば、以上の条件が必要となるが

愛知県大会に限り以下の 2 項目を認める。

(a) ピブスの着用（ただし、ピブス下は同色の袖ありのシャツ、同色のショーツ、同色のストッキングは必要）

(b) 会場体育館が許可をしていれば、ノンマーキングのシューズの使用

(6) 試合時間

【1 次トーナメント／決勝トーナメント 1 回戦】：30 分間（前後半各 15 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 10 分間（前半終了から後半開始まで）とする。

【決勝トーナメント 2 回戦以降】：40 分間（前後半各 20 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 10 分間（前半終了から後半開始まで）とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

【1 次トーナメント／決勝トーナメント 1 回戦・2 回戦】：延長戦は行わず PK 方式により勝敗を決定する。

PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

【準々決勝、準決勝、決勝】：10 分間（前後半各 5 分間）の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

13. 懲罰

(1) 本大会は、本大会東海大会及び全国大会と懲罰規程上の同一競技会とみなし、愛知県大会終了時点で未消化の出場停止処分は、東海大会の試合にて順次消化する。

東海大会へ進出しないチームは当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。

ただし、警告の累積によるものを除く。

(2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

(3) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

(4) 前項により出場停止処分を受けたとき、1 次トーナメント終了時点で警告の累積が 1 回のとき、または、愛知県大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。

(5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

委員長は、本協会フットサル委員会の委員長とする。

14. 参加申込

1 チームあたり 26 名（選手 20 名、役員 6 名）を上限とする。

登録選手及び役員は本大会全国大会まで登録が有効となる。ただし東海大会および全国大会では、3 名を上限に本大会の予選となる都道府県大会または地域大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第 7 条に定める

参加資格を満たしていなければならない。

(2) チーム名は短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。

(3) 申込締切日：2015年8月16日(日)

(4) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

15. 電子選手証

各チームの登録選手は、公益財団法人日本サッカー協会発行の電子登録証の写し（写真が登録されたもの）を、代表者会議会場および試合会場に持参すること。電子登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。

16. 組み合わせ

参加申込締切後、本協会において抽選を行い決定する。

17. 参加料

1次トーナメントより参加チーム：10,800円、決勝トーナメント進出時追加6,480円

シードチーム（決勝トーナメントより参加）：17,280円

18. マッチコーディネーションミーティング

両チームの代表者、審判員との、マッチコーディネーションミーティングを各日第1試合は9:15より行う。

その他の試合は各試合70分前に行う。場所は会場ごとに役員へ確認すること。

19. 会場準備とアップ開始時間、後片付け

毎開催日の第2試合の両チームにて（最低5名）開場と同時に準備を行うこと。

マッチコーディネーションミーティング終了後で尚且つ、会場準備終了後から第1試合のピッチ内アップを開始する。

担当チームで準備を行わない場合は棄権扱いにする場合もある。

後片付けは、最終試合の両チームで行うこと。ピッチ片付け終了後、着替えて、敗者チームは会場（スタンド、控室を含む）のごみを見回り回収し、本部へ。勝者チームは退館前に本部に立ち寄り、本日出たごみを持ち帰り分別処理をすること。

※出場チームは他のチームにごみの処理をさせないように必ず出たごみは持ち帰ること。『6-(7)項』

20. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

21. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は各チームにて行うこと。公益財団法人愛知県サッカー協会は責任を負わない。

22. その他

参加チームと選手は、本協会の基本規程および付属する諸規程（ユニフォーム規程等）を順守しなければならない。

詳細については、公益財団法人日本サッカー協会ホームページを参照すること。（<http://www.jfa.jp/>）

本実施要項に記載のない事項については、公益財団法人愛知県サッカー協会フットサル委員会にて決定する。